

平成 27 年度第 14 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「銚田市・安塚 冬の野鳥観察 ～カンムリカイツブリの繁殖地」を実施しました。

開催日時：平成 28 年 1 月 17 日（日）

開催場所：銚田市安塚 北浦湖岸および周辺

参加者：38 名

毎年 1 月に行っている野鳥の観察会。今年も雪入ふれあいの里公園所長の川崎慎二先生を講師にお招きし、北浦湖岸の銚田市安塚を観察地として行いました。また今回は観察地で自然環境の保護活動を行っている銚田市まちづくり推進会議自然環境部会の小沼様、川又様をはじめ、会のみなさまの御協力により実施することができました。

当地は関東ではおそらく唯一と思われるカンムリカイツブリの繁殖地です。川又様をはじめとする会の方々がそれを暖かく見守っています。この場所で繁殖している個体は、冬に渡ってくる個体と違って、冬でも夏羽が残っていることで見分けることができるそうです。また、会では周辺の田んぼに冬季も水を入れ（ふゆみずたんぼ）、生き物の保護に力を入れているそうです。当日は現地にて会の方々と合流して、合同で観察会を行いました。

この日は風のない穏やかな晴天で、絶好の観察日和でした。ただ湖岸の水鳥の観察には逆光でやや見にくい状況でした。それでも合計で 32 種類の野鳥を観察することができました。印象に残ったのはノスリやミサゴ、チュウヒなど猛禽類が多く見られたことです。これら生態系の頂点に位置する生物が見られることは、この場所が生き物をはぐくむ豊かな自然を残していることを意味しています。獲物の魚を見つけたミサゴの水中へのダイブは壮観でした。

そしてメインのカンムリカイツブリ、なかなか姿を見せてくれなかったのですが、午前の観察の最後に沖合に姿を現してくれました。川又様のお話では、いつもはもっと観察しやすい場所にいるそうです。この日は参加者も多く、驚いて沖に行ってしまったのかもしれませんが。それでもお目当てのカンムリカイツブリを見ることができました。

昼食休憩は当地にある観察拠点であるエコハウスを利用させていただきました。川又様の撮影した躍動感あふれる美しい野鳥の写真が数多く展示してありました。

午後は水田地帯にいる野鳥を観察していきました。川崎先生のはるか遠くにいる鳥を見つける能力の高さにも驚かされました。

最後は、川崎先生から、当日観察できた野鳥について御説明いただき、無事に観察会を終えることができました。

川崎先生、銚田まちづくり推進会議自然環境部会の小沼様、川又様、会のみなさま、そして参加者のみなさん、パートナーのみなさん、ありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人

観察会の一部を御紹介致します。



当日は多くの方が参加されました。



講師の川崎先生



銚田市まちづくり推進会
小沼様 (左) 川又様 (右)



オオバン



コガモ



ハシビロガモです。



(左) 下見の際に確認したカンムリカイツブリです。

逆光ですが、
カンムリカイツブリです。